

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成30年8月16日(2018.8.16)

【公表番号】特表2017-524339(P2017-524339A)

【公表日】平成29年8月31日(2017.8.31)

【年通号数】公開・登録公報2017-033

【出願番号】特願2016-567890(P2016-567890)

【国際特許分類】

C 1 2 N	15/09	(2006.01)
C 0 7 K	16/10	(2006.01)
C 1 2 N	1/15	(2006.01)
C 1 2 N	1/19	(2006.01)
C 1 2 N	1/21	(2006.01)
C 1 2 N	5/10	(2006.01)
A 6 1 K	39/395	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	31/12	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	1/12	(2006.01)
A 6 1 P	31/04	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 K	31/573	(2006.01)
C 1 2 P	21/08	(2006.01)

【F I】

C 1 2 N	15/00	A
C 0 7 K	16/10	Z N A
C 1 2 N	1/15	
C 1 2 N	1/19	
C 1 2 N	1/21	
C 1 2 N	5/10	
A 6 1 K	39/395	S
A 6 1 P	11/00	
A 6 1 P	31/12	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	1/12	
A 6 1 P	31/04	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	31/573	
C 1 2 P	21/08	

【手続補正書】

【提出日】平成30年5月14日(2018.5.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0204

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0204】

本発明の抗MERS-CoV-S抗体は、従前に単離した抗MERS-CoV抗体より有

## 効な中和剤である

本発明の選択した抗体の力価を、従前に単離したモノクローナル抗体と比較した。3つの群を、*in vitro* 抗体単離方法、すなわち、ファージディスプレイ (Tangら 2014 年、PNAS doi: 10.1073/pnas.1402074111；および Ying ら 2014 年、J. Virol. doi: 10.1128/JVI.00912-14)、ならびに酵母ディスプレイ (Jiang ら 2014 年、Sci. Transl. Med. doi: 10.1126/scitranslmed.3008140) を用いて、MERS-CoV Sタンパク質に結合し、ウイルス侵入を遮断する抗体を選択した。この研究のため、MERS-CoV を中和し、多様なエピトープに結合することを報告した、公開した可変ドメイン配列を有する 3 種の抗体のパネルを選択した。抗体 3B12 (Tang ら 2014 年、PNAS doi: 10.1073/pnas.1402074111)、MERS-4 および MERS-27 (Jiang ら 2014 年、Sci. Transl. Med. doi: 10.1126/scitranslmed.3008140) についての配列を、ヒト IgG1 定常ドメインにクローニングし、次に、選択した本発明の抗体と同様に発現させ、精製した。原型 EMC / 2012 配列、および上述の全ての臨床上の単離物で生成した偽粒子を用いて、全ての抗体の中和有効性を試験した。